

中学校
1年

スライドで作成！私の推し歴史上の人物

泉佐野市立新池中学校

教科

社会

単元名

自分の推し歴史上の人物を紹介しよう

本時のねらい

自分の好きな歴史上の人物の実績、行動、背景を主体的に調べ、その歴史上の人物の魅力を紹介する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

タブレット PC を活用して、自ら得た情報をまとめて活用する力（情報活用能力）を養い、歴史上の人物と時代区分との関わりなどについて考察し表現する力を育成するとともに、課題を追究する学習のよさに気付くことをねらった。

個人の考えや意見をクラス全体に共有することを通して、課題に対して主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に学び合おうとすることをねらった。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC ・授業支援ソフト（Google Classroom） ・ドキュメント作成ソフト（Google スライド）

本時の展開（*前時2時間で、人物の調べ学習とシートの作成を行っている）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時の流れを確認する。 1、シートの最終調整 2、全員の発表スライドを見る 3、クラスの生徒のスライドのうち、よいと思った作品を5点あげ、その理由を評価シートに書く	
展開 (40分)	○シートの最終調整を行う。 (閲覧のためのスライドの見直し、微調整などを行う) ○Google スライドでクラス全員の作品シートを閲覧し、よいと思った作品を5点選ぶ。 ○選んだ理由をそれぞれ評価シートに書く。 *評価は自由記述。ただし「印象に残った」「学びがあった」など評価ポイントを用意。	・クラスで全員共有のシートを使っているため、自分のシートのみ操作することを徹底させる。特に、操作1つで他者の作品が消える可能性があることも理解させたうえで作業を行う。 ・自分が調べたことを、どのように表現すれば伝わりやすいかを、ソフトの使用方法を伝えることで、表現の可能性を広げさせる。 (画像の挿入、文字の扱い、色の使い方など) ・操作を制限し、閲覧のみでできる状況とすることで、安心して閲覧することができるようにする。
まとめ (5分)	○感想を評価シートに書いて提出する。	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1 他の生徒のスライドの閲覧



写真2 評価シートの作成



写真3 クラスの優秀作品の掲示

児童生徒の反応や変容

・タブレット PC を活用して、自分が紹介したい歴史上の人物を調べ、クラスメートに発信することで、歴史上の人物に対する学びが深まっただけでなく、他者の発表から学びを得て、さらに意欲的に調べたいという感想が多く見られた。また、発表する際に、どうすれば伝わりやすいか、興味をもってもらいやすいかなど、プレゼンテーション作成上の工夫や能力の向上が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・生徒が主体的に、そして時間いっぱい向上心をもって取り組む様子を見ることができた。教員が説明することを必要最小限にとどめ、生徒の主体的な学習のサポートに徹することで、生徒の創造性を発揮させることができたと思います。